

諸問題を
わかりやすく
整理する!

急速に進む**教育勅語**容認、**道徳教育**復活。
そして、問われている**象徴天皇**の在り方。
悲惨な過去を直視し、**日本国憲法**を
根っこに据えて、これからを考え合う。

著者

岩本 努 いわもと つとむ

歴史教育者協議会会員、日本教育史研究会会員。
1942年、静岡県周智郡気多村（現・浜松市）生まれ。早稲田大学大学院教育学専攻博士課程修了。法政大学、立正大学、中央大学、都留文科大学の兼任講師を歴任。著書多数。

丸山 重威 まるやま しげたけ

ジャーナリスト、ジャーナリズム研究家。日本ジャーナリスト会議運営委員、日本民主法律家協会理事。
1941年、静岡県浜松市生まれ。早稲田大学卒。共同通信社に入社し社会部を中心に取材活動。2003年から関東学院大学同法科大学院教授、中央大学兼任講師著書多数。

I部

これからの天皇制を考える 丸山重威

- 1章 いま、何が問題なのか
- 2章 天皇発言を読み解く
- 3章 新時代の天皇制と天皇制をめぐる憲法論議

II部

戦前の天皇制教育から今日の道徳教育への道 岩本 努

戦後教育による近現代史認識一本編まえがきにかえて

- 1章 教育勅語を普及させた「修身」と儀式
- 2章 教育勅語体制はどんな犠牲を国民に強いたか
- 3章 修身教育の行きつくところ
- 4章 敗戦と教育改革

岩本 努 著
丸山重威

過去の歴史を直視し、
日本国憲法を根っこに据えて

を
考
え
る

道徳教育

天皇制と

これからの

推せん

元日本教育学会会長
東京大学名誉教授
堀尾 輝久

元歴史教育者協議会委員長
元首都大学東京講師
石山 久男

あけび書房

諸問題を整理する

問われる今、

在り方が

天皇制の

そして

道徳教育復活、

教育勅語容認、

四六判並製・216ページ 本体1500円 ISBN978-4-87154-163-3

本書「はじめに」より(抜粋)

日本国憲法の下で「象徴」となった天皇をめぐる制度は、論争を恐れる「タブー」もあって、曖昧なまま年月を経てきました。

私たちはそこで、改めて日本国憲法下での天皇を考え、その存在や影響、果たしている役割を見つめ、国民的な議論を巻き起こしていくことがどうしても大切だ、と考えるに至りました。

平成に続く次の時代も戦争のない、平和と諸国民の共生の時代とするために、新しい時代にも天皇制度があるとすれば、どうあるべきか、過去の過ちを次代に伝えるために、いまいちど見つめ直してみたいと思います。

あけび書房

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5
TEL.03-3234-2571 FAX.03-3234-2609
http://www.akebi.co.jp akebi@s.email.ne.jp

キリトリ線

ご記入のうえ、最寄りの書店が取引先、あるいはあけび書房が著者へご注文下さい。

発行 あけび書房 TEL03-3234-2571 FAX03-3234-2609

注文書

書店印・取扱先

これからの天皇制と道徳教育を考える ()冊 注文します

その他・備考

氏名・団体名

ご担当者
氏名

送り先 〒()-()

電話 ()